



M 5: エリート養成システムの確立 ジョイントミーティング

2009年2月7日～8日
富山／富山

(財) 日本サッカー協会
PHQ 五香 純典

1. イントロダクション

ご挨拶

社団法人 富山県サッカー協会

福田 孜 会長

➤ ミーティングにおける目的・参加姿勢

ジョイントミーティングにおける目的

- **情報共有**
- **課題解決**
- **ネットワークの構築**

ジョイントミーティングにおける参加姿勢

- サッカー人として責任感を持つこと
- 偏見を持たず物事に向き合うこと
- 互いに提供しあうこと

ジョイントミーティングにおける参加姿勢

- レスポンシビリティ (responsibility)
- オープンマインド (open-mind)
- ギブアンドテイク (give and take)

2/7(土) ～ 1日目スケジュール

<富山県総合室内ドーム>

1. 視察（富山県FAキッズエリート活動）
2. 質疑応答

<名鉄トヤマホテル>

1. イントロダクション
2. 富山県FAの取り組み(橋本氏/河浦氏)
3. 支援制度関連

懇親会

2/8(日) ～ 2日目スケジュール

<名鉄トヤマホテル>

1. JFAからの報告

1) JFA技術委員会からの報告

～キッズエリート 指導ガイドライン 方向性～

2) 支援制度対象FAの好事例紹介

2. グループディスカッション

1) 子どもの発想を引き出す知恵・工夫

2) 保護者の理解を得るための知恵・工夫

3. 総括

プレジデント・ミッション

- M 1: 「JFAメンバーシップ制度」の推進
- M 2: 「JFAグリーンプロジェクト」の推進
- M 3: 「JFAキッズプログラム」の推進
- M 4: 中学生年代の環境充実
- M 5: エリート養成システムの確立**
- M 6: 女子サッカーの活動推進
- M 7: フットサルの普及推進
- M 8: リーグ戦の推進と競技会の整備・充実
- M 9: 地域／都道府県協会の活動推進
- M10: 中長期展望に立った方針策定と提言
- M11: スポーツマネジメントの強化

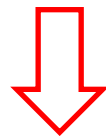
「エリート」とは・・・

社会における各分野でのリーダーであり、奉仕者である、という自覚と能力を持った者たちのこと。

※「言語技術」が日本のサッカーを変える：田嶋幸三著（光文社新書、2007）より

「キッズ年代におけるエリート教育」

エリート教育の「対象」として選ばれた(もしくは参加している)子どもたちが、将来「エリート」として活躍出来る様に成長を促すことを目的としたプログラム。



「対象」として選ばれた時点で「エリート」であるわけではない。

2. 富山県FAの取り組み

キッズエリート活動の推進

富山県FA キッズ委員長

橋本 貞樹

富山県FA～キッズエリート活動

◇05年

- ✓CHQ/M5(エリート)支援制度に参加=**継続中**
- ✓U-6・U-8のスクールを県内3会場でスタート=**継続中**
 - 4月～10月 各会場12回実施

◇06年

- ✓U-10スーパースクールを始める=**継続中**
 - 11月～3月 10回実施(セントラル方式)
 - 保護者対象に栄養クリニックを実施

富山県FA～キッズエリート活動

◇07年

- ✓U-10サマーキャンプを始める=**継続中**
 - 8月 2泊3日 約40人参加
 - キャンプ参加者を対象に水分調査実施

◇08年

- ✓スーパークリニック実施
 - 講師 FIFA・S級ライセンス ジョアン・サルバンス氏
- ✓子供たちと一緒にチャレンジクッキングを実施
 - 子供たちが実際に調理に参加。
 - 食事の大切さを知ってもらう。

一貫したエリート養成システム確立へ向けて

富山県FA 技術委員長

ユースダイレクター

河浦 一成

各種研究・調査

- **熱中症を防ぐための水分補給調査**
- **キッズ年代におけるスポーツと栄養**
- **飲水前うがいの有効性研究**

3. 支援制度関連

2008年度上期報告書チェック

■ 報告内容のわかりやすさ

読む人にとってわかりやすい質・量を伴った内容であるかどうかをチェックする。
こうした報告書を読みやすいものにまとめることは、都道府県協会が各方面に普及・PRする上で重要となる。

> 活動実績全体

活動実績全体が一覧でわかるものや、参加者数の記録、イベントの規模感のわかりやすさを評価

評価数値： 3・・・非常によい 2・・・ふつう 1・・・わかりにくい

> 活動詳細

活動ごとの詳細がわかるような報告書・コメント・感想等の充実度を評価

評価数値： 3・・・非常によい 2・・・ふつう 1・・・わかりにくい

> 添付素材

添付素材(写真・図表・映像等)をうまく活用し、バラエティに富んだ報告書となっているかどうかを評価

評価数値： 3・・・非常によい 2・・・ふつう 1・・・わかりにくい

2008年度上期報告書チェック

■ PDCAサイクル充実度

Plan-Do-Check-Actionのサイクルが重視されているかどうかを評価

例えば、現状・課題分析に対する活動があり、それに対する評価・改善を行っていこうという意図が感じられるかどうか。関連委員会の議事録やミーティングメモにその意図が明らかになっているかどうか具体的な判断ポイントとなる。

評価数値： 3・・・非常によい 2・・・ふつう 1・・・わかりにくい

別添のチェック結果一覧を参照

報告書 好事例

1. 活動実績全体の総括がある

- 簡潔な文章で全体・各種活動を分析
- 参加者数等をわかりやすく数値化

→ 資料を重ね合わせるだけではわかりづらい

報告書 好事例

2. 活動詳細がわかりやすい

- イベントの概要がまとめられている
- 参加者・スタッフの満足度がわかる

→ 数字の羅列だけでは雰囲気かわからない

報告書 好事例

3. 添付素材が充実している

- 写真等によって現場の雰囲気 that 伝わる
- 実際の配布物等が添付されている

→ 文字だけでは具体的なイメージがわからない

報告書 好事例

4. PDCAサイクルがなされている

- 過去実績に対する現状分析がある
- 課題に対するアプローチが見て取れる

→ しっかりとした目的意識を持つ必要がある

2009年度企画提案書

- ✓ **募集期間： 2008年11月14日～12月22日**
- ✓ **企画提案： 新規フォーマット記入例参照(別添)**
- ✓ **提出方法： Eメールでの提出を推奨**
- ✓ **補助金額： 1協会あたり上限150万円**
- ✓ **ヒアリング： 2009年1月～2月にて適宜実施**
- ✓ **対象FA決定： 2009年3月12日 JFA理事会**



M 5: エリート養成システムの確立 ジョイントミーティング

2009年2月7日～8日
富山／富山

(財) 日本サッカー協会
PHQ 五香 純典

2/8(日) ～ 2日目スケジュール

<名鉄トヤマホテル>

1. JFAからの報告

1) JFA技術委員会からの報告

～キッズエリート 指導ガイドライン 方向性～

2) 支援制度対象FAの好事例紹介

2. グループディスカッション

1) 子どもの発想を引き出す知恵・工夫

2) 保護者の理解を得るための知恵・工夫

3. 総括

1. JFAからの報告

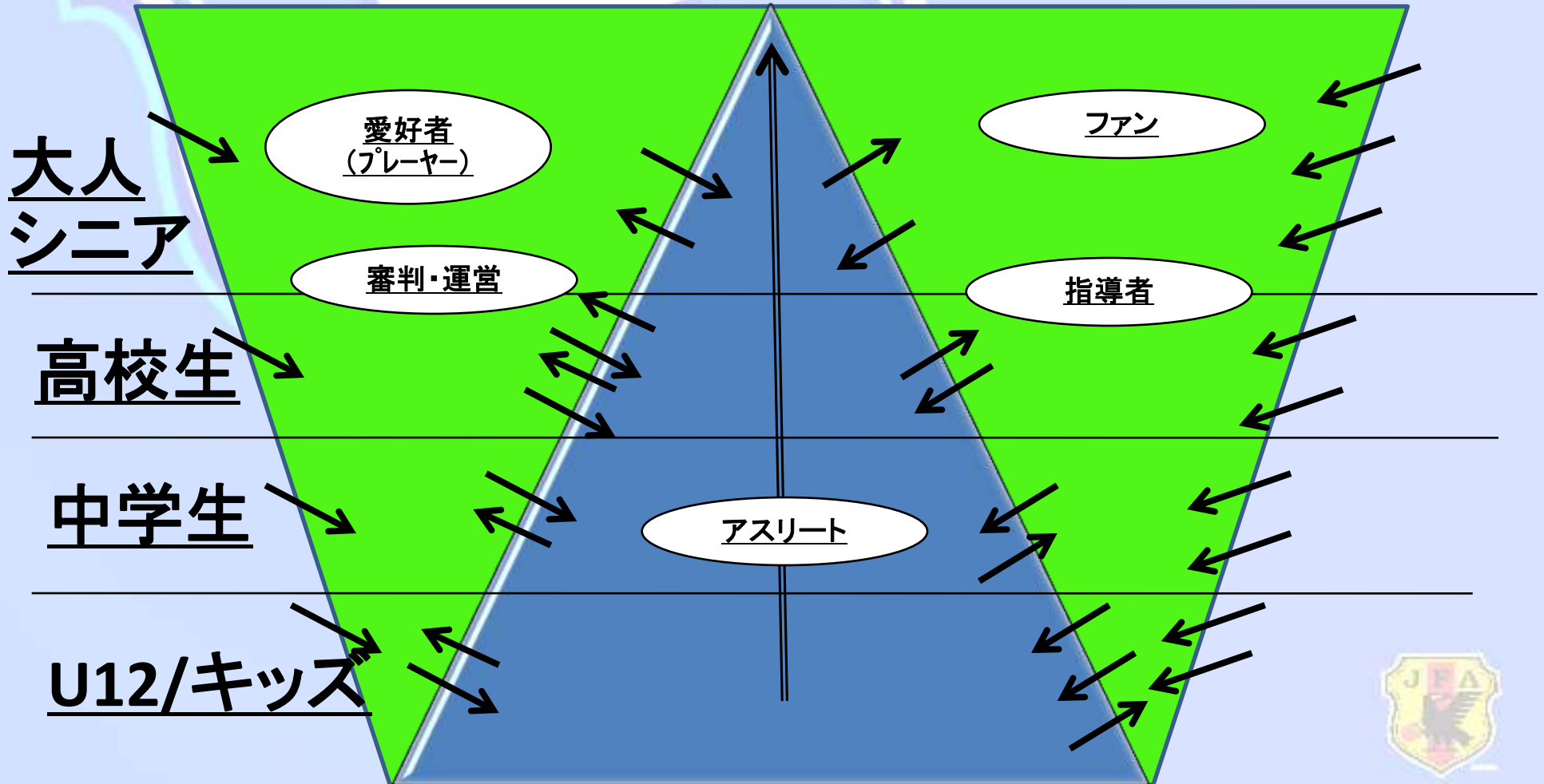
プレジデント・ヘッドクォーターズ

部長

真田 幸明

普及と発展

サッカーファミリー500万人となる逆台形



1) JFA技術委員会からの報告

キッズエリート指導ガイドライン方向性

JFA技術委員会

キッズプロジェクト リーダー

中山 雅雄

2) 支援制度対象FAの好事例紹介

➤ 世代・地域間の交流

- **宮城県FA・福島県FA合同合宿**
(JFAアカデミー福島U-14/Jヴィレッジ)
- **大阪府FA・滋賀県FA合同トレーニング**
(ナショナルトレセン関西U-12/ビッグレイク)

2. グループディスカッション

ディスカッションの進め方

1) 1人ブレインストーミング (5分)

ポストイット: **赤**—**良い提案** / **青**—**現状の課題**

2) ディスカッション (30分)

ポストイットを並べて主な意見を整理して下さい!

3) グループ別発表 (10分)

良い提案と現状の課題を一つずつ発表します!

イントロダクション

どんなこどもに育ってもらいたいですか？

1) 子どもの発想を引き出す知恵・工夫

- オン・ザ・ピッチでのアプローチ
- オフ・ザ・ピッチでのアプローチ

ディスカッションのポイント

子どもの発想を引き出すためには・・・

「子どもが“どのような状態”であればよいか？」という視点

「自分に自信を持っている」？

「心身ともにリラックスしている」？

主な意見

- しっかり「名前」を呼んであげること
- 声を出して意見を言わせる場面をつくること
- 「子どもからの意見」に対して「ダメ」と言わないこと
- コーチから笑顔で子どもに接すること



オン・オフに共通した意見が多かった。

2) 保護者の理解を得るための知恵・工夫

- 何を伝えるか？
- どのように伝えるか？

ディスカッションのポイント

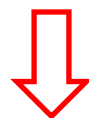
保護者の理解を得るためには・・・

「何をどう伝えれば理解してもらえるのか？」という視点

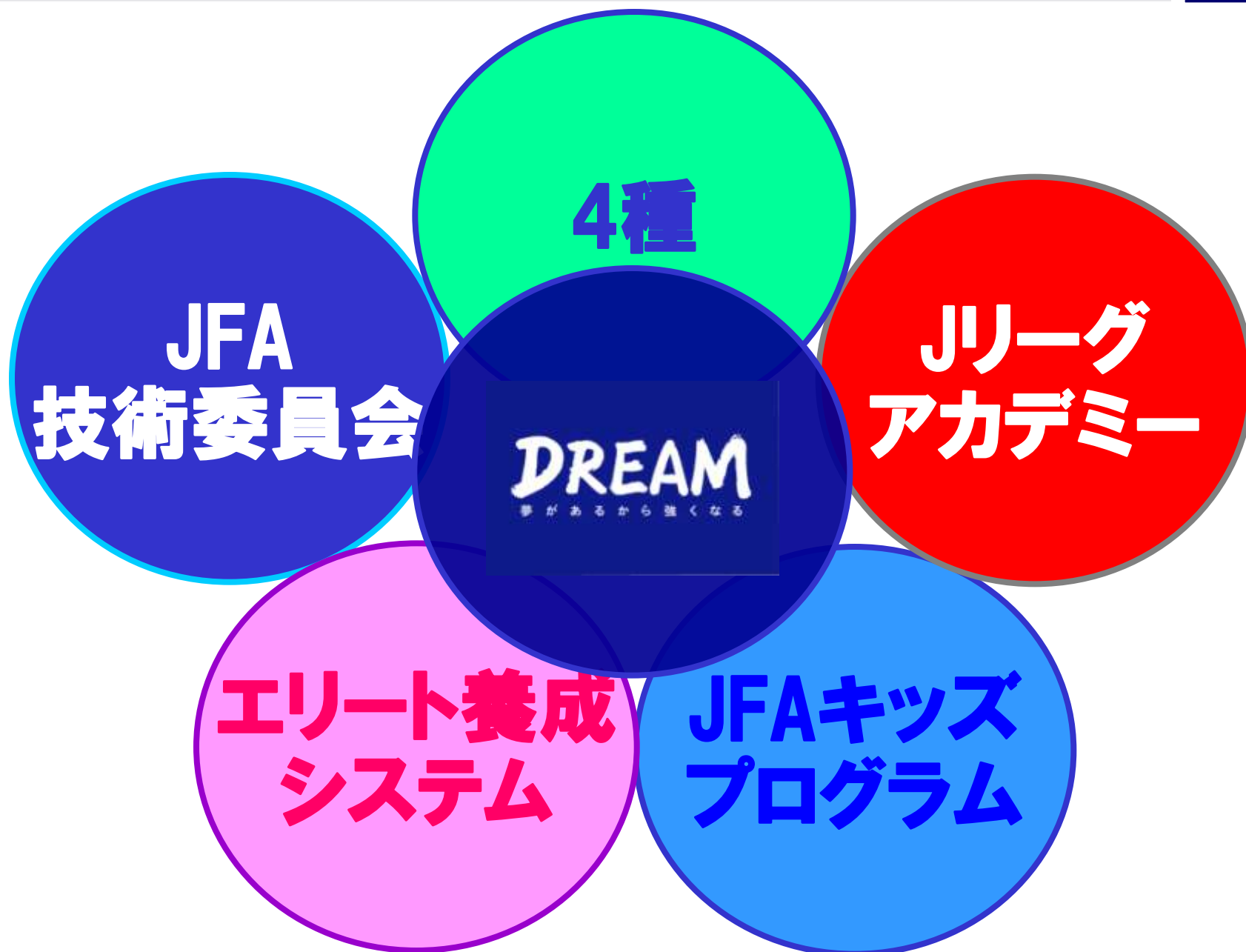
「相手の目線に立てているかどうか」？

主な意見

- 「サッカーを通じた人間教育」を重視していることを伝える
- コーチから子どもへの接し方を具体例を出して説明する
- 保護者に「めざせベストサポーター！」を説明してもらう
- 「保護者会」や「父兄会」等に出向いていく
- 個人懇談／ブログ／メール等を活用する



「相手に伝えるための工夫」を凝らすことの大切さ



DREAM

夢があるから強くなる



M 5: エリート養成システムの確立 ジョイントミーティング

2009年2月7日～8日
富山／富山

(財) 日本サッカー協会
PHQ 五香 純典